

令和 8 年度 編入学・転入学 入試問題 出題の意図

【編入学・転入学選抜Ⅰ期】

<経済学>

政府による市場介入の一形態である「補助金」が、社会全体の経済厚生に与える影響を考察させることを目的としている。補助金導入前後における総余剰の変化を面積図から導出し、余剰の増分や損失（死荷重）の名称および範囲を正確に特定できるかを測定する。図表の分析結果に基づき、政策の妥当性について論理的に議論を構成する思考力を問う内容となっている。

<経営学>

ポーターの戦略論、また、ポジショニングアプローチによる戦略論における「交渉力」の意味を問う意図がある。基本的な概念を理解しているかどうかを問うことを意図しているが、語句の意味そのものを学習していなくとも、フレームワークを理解して入れば説明できると考えられる。

<法学>

事例に示された事実関係をもとにそこで問題となっている法律関係をどの程度明らかにすることができるかを見ることにより、受験者の有する法学に関する知識と理解について問うてみるという趣旨の出題である。ここでは主に民法の人に関する権利能力に関する知識と理解が問われている。